

社会資本総合整備計画 事後評価シート
長野駅東口周辺の安全・安心で快適なまちへの再生
(原案)

令和6年3月

長野県長野市

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 長野駅東口周辺の安全・安心で快適なまちへの再生		
計画の期間	令和02年度～令和05年度（4年間）	交付対象	長野県長野市
計画の目標			

高度経済成長期に無秩序な市街地が形成された長野駅東口周辺において進めてきた土地区画整理事業により、公共施設整備が完了を迎えている。
本計画において、事業の早期完了に向けた業務を実施し、事業による交通結節点機能強化向上等のストック効果の発揮により、安全・安心で快適なまちへの再生を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・長野駅周辺第二土地区画整理区域内の人口を2,827人（R1）から2,927人（R5）に増加させる。
- ・長野駅から地区内に訪れる歩行者数を4,308人/日（R1）から4,508人/日（R5）に増加させる。
- ・長野駅を交通結節点として利用するバスの台数を3,778台/月（R1）から3,898台/月（R5）に増加させる。
- ・長野駅周辺第二土地区画整理事業地内の地価公示価格を商業地において140,000円/㎡（R1）から144,000円/㎡（R5）に上昇させる。
- ・長野駅から須坂長野東ICまでの所要時間を短縮。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (R1当初)	中間目標値 (R3末)	最終目標値 (R5末)	
① 土地区画整理区域内居住者人口の増加 住民基本台帳に登録されている人口	2,827人	2,877人	2,927人	
② 長野駅から地区内に訪れる歩行者数の増加 長野市歩行者通行量調査における長野駅東口ペDESTリアンデッキ歩行者数を活用	4,308人/日	4,408人/日	4,508人/日	
③ 長野駅を交通結節点として利用するバスの台数の増加 バス待機場利用台数を活用	3,778台/月	3,838台/月	3,898台/月	
④ 土地区画整理区域内の商業地の地価公示価格の上昇 土地区画整理区域内における土地の地価公示価格	140,000円/㎡	142,000円/㎡	144,000円/㎡	
⑤ 長野駅から須坂長野東ICへのアクセス時間の短縮率 = (1 - [Σ (要素事業供用による所要時間 (分)) ÷ Σ (要素事業の現道での所要時間 (分))]) × 100	0%	0%	7%	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	令和6年3月
長野市都市整備部市街地整備課内において事後評価を実施	公表の方法	長野市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
											R2	R3	R4	R5		
A-1	道路	一般	長野市	直接	長野市	市道	改築	長野駅周辺第二地区	区画整理 58.2ha	長野市					571.0	
											小計（基幹事業）	571.0				
											合計	571.0				
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考	
										R2	R3	R4	R5			
											合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										R2	R3	R4	R5		
										合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業区域内のすべての都市計画道路を含む公共施設整備が完了したことにより、長野駅東口から須坂長野東インターチェンジをはじめ、主要な道路や施設、観光地等へのアクセスが向上し、経済や観光面などへのストック効果が期待される。この効果により、県都長野市の玄関口として、交通結節点機能の強化が図られたと評価する。 ・都市防災機能の強化として、すべての都市計画道路の歩道内に電線共同溝を整備し、無電柱化を実施したことにより、有事の際の緊急輸送路の機能を強化すると共に、良好な景観にも寄与した。 ・事業区域内には、医療・福祉・商業・介護・教育・文化などの日常生活に不可欠な施設が集積し、暮らしやすく、利便性の高いコンパクトな都市が形成されてきている。
--------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

II 定量的指標の達成状況	指標①（土地区画整理区域内居住者人口の増加）	最終目標値	2,927人	目標値と実績値に差が出た要因	目標どおり達成
		最終実績値	2,938人		
	指標②（長野駅から地区内に訪れる歩行者数の増加）	最終目標値	4,508人/日	目標値と実績値に差が出た要因	新型コロナウイルスの感染症上の位置づけが令和5年5月に「5類」となり、制限が解除された。それに伴い、観光・イベントで訪れる人数は回復傾向にあるものの、テレワーク・WEB会議の定着により、地区内に訪れるビジネスマンの減少が影響していると思われ、目標値に達していない。
		最終実績値	4,460人/日		
	指標③（長野駅を交通結節点として利用するバスの台数の増加）	最終目標値	3,898台/月	目標値と実績値に差が出た要因	新型コロナウイルスの感染症上の位置づけが令和5年5月に「5類」となり、制限が解除された。観光・イベントの回復に伴い、スキーシーズンにおける利用数がコロナ前と同等程度まで回復したが、春から秋にかけてはコロナの影響が依然残り利用数が伸び悩んだ。さらに、近年、社会問題となっている慢性的なバス運転手不足の影響も一定程度あると思われ、目標値に達していない。
		最終実績値	3,380台/月		
	指標④（土地区画整理区域内の商業地の地価公示価格の上昇）	最終目標値	144,000円/㎡	目標値と実績値に差が出た要因	目標どおり達成
		最終実績値	149,000円/㎡		
	指標⑤（長野駅から須坂長野東ICへのアクセス時間の短縮率）	最終目標値	7%	目標値と実績値に差が出た要因	目標どおり達成
		最終実績値	7%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された都市計画道路沿いには、マンションや医療施設など生活に密着した店舗等の日常生活に不可欠な身近な施設の進出が確認され、交通の便の良さと相まって良好な生活環境が実現している。また、令和4年8月の換地処分以降、駐車場から土地の高度利用が図るマンションなどの建設が非常に活発になっており、中心市街地としての機能が整い地域の活性化に繋がっている。 ・都市計画道路の歩道内に電線共同溝を整備し、無電柱化を実施している。災害時の避難・救助・物資供給という緊急輸送路としての機能が強化される共に、日常では良好な景観を形成することにより、安全・安心で快適なまちへの再生を図っている。
------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 特記事項（今後の方針等）




○コンパクトシティの推進 長野駅の東口周辺では、医療、商業、教育、文化施設の立地が進み、土地の高度利用も図られている。事業区域内には、生活に必要な商店や病院、金融機関など様々な施設が集積し、これら施設がすべて徒歩圏内にあり、誰もが歩いて暮らせるまちづくりに繋がっている。

(参考様式3)

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	長野駅東口周辺の安全・安心で快適なまちへの再生		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和5年度 (4年間)	交付対象	長野県、長野市



凡例	
	基幹事業
	関連社会資本整備事業
	効果促進事業